

第11回 DAAS運営委員会 議事要旨

- (1)日時： 2009年9月16日(水) 午後2時～4時
(2)場所： 財団法人建築行政情報センター 6階会議室
(3)出席者： 敬称略 順不同
委員長： 三塩(日本設計)
副委員長： 南(慶應義塾大学)
委員： 今倉(建築業協会)、戸谷(日事連)、早川(日建設計)、有馬(積水ハウス)、真木委員・代理 川田昭朗(建築学会)、鈴木(日本建築士会連合会)、早川(日本建築士会連合会)、伊平(久米設計)、兼松(JIA)
事務局： 井出(住宅・建築・都市政策支援集団)、桐原(CBL)、伊藤(CBL)、細井(CBL) 武藤国土交通省:遠山(住宅局建築指導課課長補佐)

(4)配布資料：

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム 第4期(2009-2010年度)総会資料 一式

- 資料1 会員名簿
- 資料2 役員名簿(案)
- 資料3 第3期(2008-2009年度)事業報告(案)
- 資料4 第3期(2008-2009年度)収支決算(案)
- 資料5 監査報告書
- 資料6 第4期(2009-2010年度)事業計画(案)
- 資料7 第4期(2009-2010年度)収支予算(案)
- 資料8 規約変更(案)
- 資料9 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

別添

- 資料4(訂正) 第3期(2008-2009年度)収支決算(案)
- 資料7(訂正) 第4期(2009-2010年度)収支予算(案)

(5)議事

■審議事項

[総会議案及び理事会議案の提出資料(案) 確認と承認の件]

総会議案1 役員を選任

○ 資料1、2に基づき、1社4団体の新規入会、1社退会の会員名簿の変更について事務局より報告があった。

総会議案2 第3期(2008-2009年度)事業報告及び収支決算について

○ 資料3に基づき、第3期(2008-2009年度)事業報告(案)を事務局より説明したところ原案どおり承認された。

○ 資料4の執行(案)については、資料4(訂正)に差し替えをお願いし、第3期(2008-2009年度)収支決算書(案)を説明したところ以下の訂正を条件に承認された。

・2009年8月11日現在の次期収支差額を9月末付の収支差額に変更し、総会資料として提出の予定。

【意見等(資料3関係)】

(兼松) DAASビデオ企画のパーспекティブに、植田実(まこと)さんなどの建築ジャーナリストを是非視野に入れていただきたい。また、保全候補建築・まちなみリスト資料に文化財があるが、文化庁とは直接話はされているのだろうか。

(事務局) 文化庁と接触はしていない。

(兼松) 登録文化財はリスト化されていない。正式に文化庁と打合せしてはどうだろうか。文化庁の方がオブザーバー的にDAASの委員会に参加頂くなどはどうだろうか。

(事務局) 昨年度のワーキンググループ(優良な住宅・建築・街並み及びその記録の保全に関する調査部会)に後藤治氏に参加頂き、文化庁の姿勢・概要のようなことはうかがっている。また、このリストを作成するにあたってHPの情報にとどめたのは、何が必要かわかれば国交省と文科省も含め話ができるかもしれないということだったため、リストから次の段階に移るときに具体的な相談をしたいと考えている。

(兼松) 学会のデータベースの委員会でも文化庁の方も参加している。KITアーカイヴスの言葉の使い方としてJIA-KIT建築アーカイヴスと分けているのだろうか。

(事務局) 現在プレスリリースをしたいと考えている。アーカイブが連携し資料を集める活動を進めていくということについて、まずはDAASと金沢工業大学の間の調整かと思っていたのだが、笹委員がこの取り組みのプレスリリースについてJIAの委員で了解をとりたくて仰っていた。そうなると言葉の使い方が変わっていくのではないかと考えている。現在は、金沢工業大学との間でしか了承を得られていないということなのでDAASとしては、KITアーカイヴス研究所と書類上は表記させて頂いている。

(兼松) 写真以外の図面・資料の収蔵となるとJIA-KITアーカイヴスとなる。

(事務局) 大学として物理的な保存場所を確保していて、かつアーカイヴス研究所という組織があり、職員を雇い整備が進んでいる主体が金沢工業大学にあるわけだが、そちらとDAASとの交渉の中で、アライアンスを組み輪を広げるといった話が進んでおり、実際のフローというのは理解していなかったかもしれない。JIA-KITアーカイヴスと金沢工業大学建築アーカイヴス研究所との関係ということの後ほどで構わないので、確認させていただきたい。

(兼松) 資料の整理やデータ化していくことはJIA-KITアーカイヴスの仕事かもしれないが、実態は金沢工業大学の職員がやっている。学内では研究所を組織した方がよいということで設立されたものなので、図面や資料などにかかわる場合は、混乱することもあるので、名称を正確に使用して頂きたい。

(事務局) 確認をしながら進めたいと思う。

(伊平) 2011年のUIA大会について具体的な協力はどのようなものだろうか。

(事務局) DAASとしては、出来ることが限られているのではないかと思う。UIA大会で全国の様々な建築や設計者の資料、プレゼンテーションが集まると考えている。その資料を収蔵する、DAASが預かるなどが考えられるが、現状、具体的にUIA事務局等に対してコンタクトをとるといった段階にはなっていない。ただし、大会にむけてDAASが多くの資料を収蔵しているということを言えるように活動目標としてとらえているところである。

(伊平) レセプションでの画像の投影などは、考えられるのではないか。

(事務局) それ以外にも、UIA大会期間中の記録作成、来訪者のインタビュー収録などもアイ

ディアとしてはあるが、いずれにせよ、DAAS は記録を残しそれを活用する、ということが大きなミッションであると考えている。そのことに関する声掛けなども頂ければ幸いである。大会中のデモンストレーションやパフォーマンスということよりは、その場に集まった記録を DAAS で収蔵・紹介するということが具体的な案ではないかと思っている。それに関連し現物保存についての紹介があるということも考えられる。

総会議案3 第4期(2009-2010年度)事業計画及び収支予算について

○ 資料6に基づき、第4期(2009-2010年度)事業計画(案)を事務局より説明したところ、以下の訂正を条件に承認された。

・添付資料6-1 社団法人 日本建築学会 会長名を 佐藤滋氏に訂正。

○ 資料7の予算(案)については、資料7(訂正)に差し替えをお願いし、第4期(2009-2010年度)収支決算書(案)を説明したところ、前期繰越金を9月末付の繰越金の収支差額に変更することを条件に承認された。

【意見等(資料6関係)】

(有馬) 添付資料6-1の送付案内についてはオーナーの方のデータということを利用して書いてあるが個人住宅等については個人情報絡むので「DAASとしての取り扱いを厳重にする」という一行を追加する必要があると考える。

総会議案4 規約の変更について

○ 資料8に基づき、規約変更を説明したところ、原案どおり承認された。

【意見等(資料8関係)】

(兼松) 事務局長案については具体的には誰と考えているか。

(事務局) 総会で規約変更の承認が得られれば、ということになるが、規約上、理事長が任免するということになる。南副委員長を推薦または、実質事務局の中心となっている武藤を考えているが事務局の中でも議論を進め検討したい。

[本議事要録にて事務局追記]

議案4が「規約変更及び会費等規定変更」となっておりますが、会費等規定変更については、該当しないため、議案4は規約の変更についてのみとさせていただきます。ご了承下さい。

報 告 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

○ 資料9に基づき、指定代表者の変更を説明したところ、原案どおり承認された。